Press Release

国土交通省　北陸地方整備局
金沢河川国道事務所

※WISENET 2050

記者発表資料
令和6年10月24日
配布：石川県政記者クラブ
扱い：配布後解禁

金沢東部環状道路（月浦町（つきうらまち）～神谷内町（かみやちまち））4車線化1年後の交通状況について

■ 令和5年8月11日に4車線化した国道159号金沢東部環状道路（月浦町～神谷内町）について、4車線化1年後の交通状況についてとりまとめましたのでお知らせします。

※WISENET：2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステム（通称：WISENET）
World-class **I**nfrastructure with 3**S**(Smart, Sustainable,Safe) **E**mpowered **NET**work

効果1　金沢市北部地域の交通環境が改善

Smart　観光立国の推進　地域安全保障のエッセンシャルネットワーク

・平日ピーク時において、金沢東部環状道路の旅行速度が上昇したほか、観光地が集中する金沢市中心部や国道359号周辺など金沢市北部地区で旅行速度が上昇。

効果2　物流拠点へのアクセス強化 交通環境の改善に伴うCO2排出量の削減

Sustainable　経済成長・物流強化　低炭素で持続可能な道路の実現

・工業団地からアクセス拠点である金沢港への所要時間が約10分短縮し物流効率化を支援。
・旅行速度の改善により、平日朝ピーク時ではCO2排出量が１台あたり約16%減少。

効果3　交通事故の発生確率の減少、安全性の向上

Safe　地域安全保障のエッセンシャルネットワーク

・4車線化区間の死傷事故率が約60%減少(12.4→5.0件/億台キロ)。

【金沢東部環状道路 事業位置図】

【4車線化区間の状況】

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所　計画課長　水野（みずの）　力斗（りきと）
住所　：　金沢市西念（さいねん）4丁目23番5号
電話　：　076－264－9912（計画課直通）
FAX　：　076－233－9631
事務所HP　：　https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/index.html
X(旧ツイッター)　：　https://twitter.com/KanazawaBousai
【事務所HP】　【X(旧ツイッター)】

整備効果

効果1　金沢市北部地域の交通環境が改善（平日ピーク時）

Smart　地域安全保障のエッセンシャルネットワーク　観光立国の推進

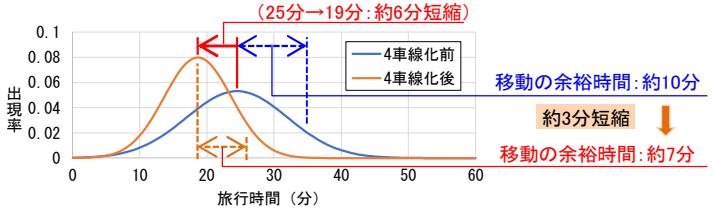
○金沢森本IC～神谷内間の４車線化後、市内中心部の香林坊や金沢駅周辺で平日の交通量が約10%減少し、旅行速度が上昇傾向。
○４車線化区間を中心に旅行速度が20%以上向上したことで、今町～兼六園下間では平均旅行時間が最大約6分短縮した他、渋滞により目的地への移動に要する時間のばらつきを考慮して見込んでいた余裕時間が最大約5分短縮。

■交通量の変化（平日ピーク時）

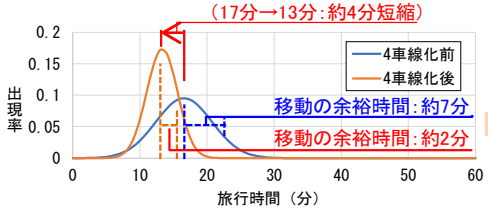
■旅行速度の変化（平日ピーク時）

■4車線化前後での旅行時間の分布（今町～兼六園下）

【今町→兼六園下】　平均旅行時間の短縮（25分→19分：約6分短縮）



【兼六園下→今町】　平均旅行時間の短縮（17分→13分：約4分短縮）



出典
【交通量】JARTIC日本道路交通情報センター
断面交通量情報より
４車線化前　平日：令和5年4月～6月（7時～9時）
４車線化後　平日：令和6年4月～6月（7時～9時）
【旅行速度・旅行時間】ETC2.0プローブデータ
４車線化前　平日：令和5年4月～6月（7時～9時）
４車線化後　平日：令和6年4月～6月（7時～9時）

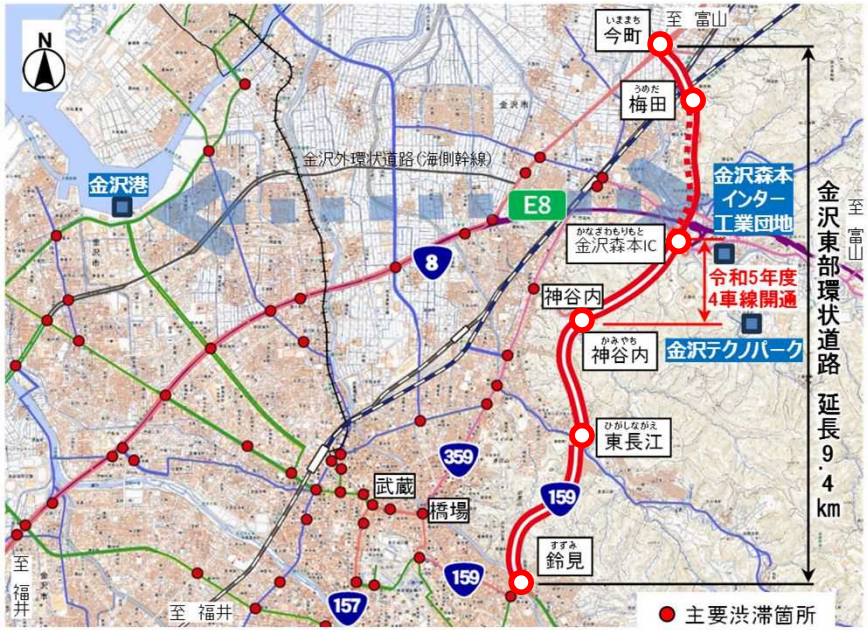
※移動の余裕時間（移動に見込む余裕時間）
通行する車両のうち、移動に要する時間が短い方から9割の車両が通行するまでの時間と平均旅行時間の差

整備効果

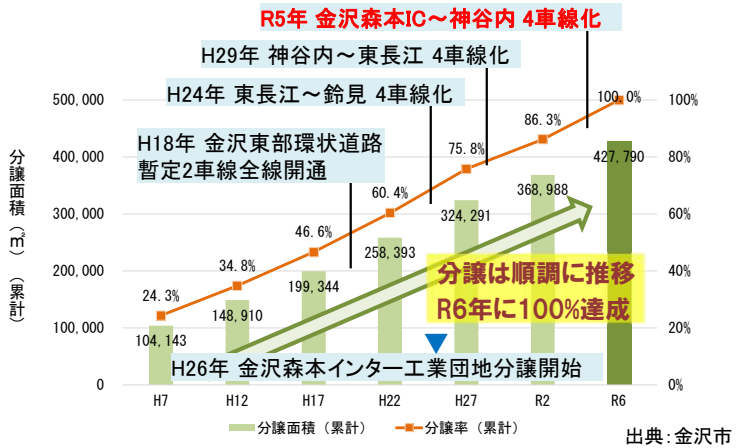
効果2　企業立地の促進、物流拠点へのアクセス強化

Sustainable　経済成長・物流強化

○金沢森本IC近接の金沢テクノパーク・金沢森本インター工業団地では、金沢東部環状道路をはじめとする道路整備が相まって、令和6年に分譲可能な面積の全てが完売。
○物流拠点である金沢港へのアクセスでは、金沢東部環状道路の速度上昇により、金沢森本ICから金沢港へ向かう所要時間が約10分短縮。

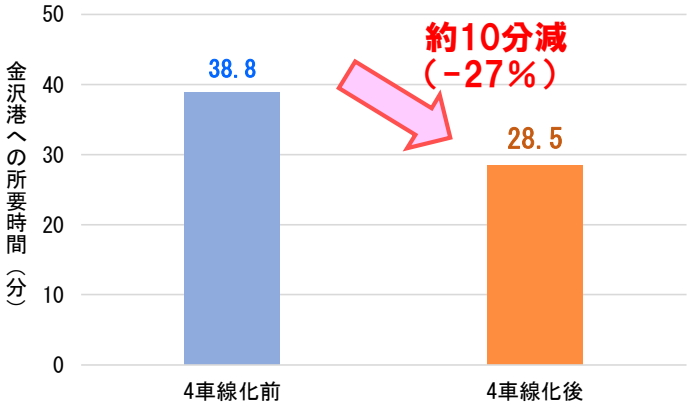


■分譲面積の推移（金沢テクノパーク・金沢森本インター工業団地）



出典：金沢市

■所要時間の変化（金沢森本IC⇒金沢港）



出典：ETC2.0プローブデータ
4車線化前　平日：令和4年9月～11月（7時～19時）
4車線化後　平日：令和5年9月～11月（7時～19時）

・**金沢市企業誘致室**：金沢テクノパークや金沢森本インター工業団地は、北陸自動車道や金沢東部環状道路と近接しアクセス面が充実しており、平成4年の分譲開始以降、金沢東部環状道路の整備も相まって、順調に企業に進出いただき分譲率が100%に達しました。

・**金沢テクノパーク内企業**：４車線化後は、工場から本社のある金沢中心部、海外出荷の４割を占める金沢港へ行き来しやすくなりました。従業員からも通勤時間が減少しているとの声も聞いています。
工場を増設するため、今年テクノパークの分譲地を追加購入し、工場完成後は新規の雇用を予定しています。

整備効果

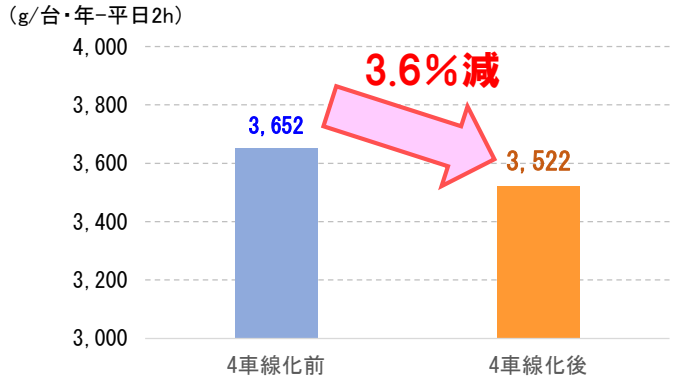
効果2　交通環境の改善に伴うCO2排出量の削減

Sustainable　低炭素で持続可能な道路の実現

○金沢森本IC～神谷内間の4車線化後、平日朝ピーク時における金沢東部環状道路の交通量は全区間で増加。
○旅行速度の改善により、金沢東部環状道路及び並行する国道３５９号線ともに１台あたりのCO2排出量が削減。

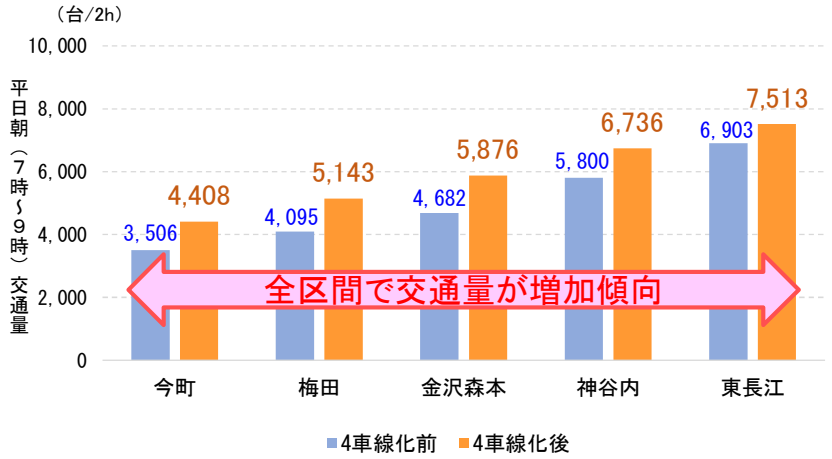
《国道359号(梅田IC口～橋場)》

■CO2排出量の変化(平日朝2h)

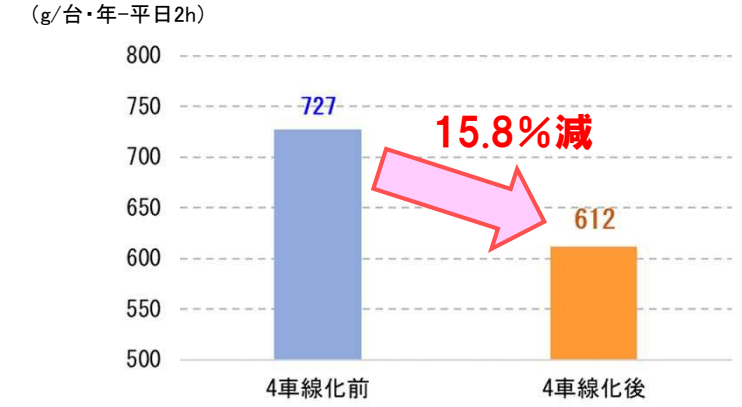


《金沢東部環状道路》

■交通量の変化(平日朝2h)



■CO2排出量の変化(平日朝2h)



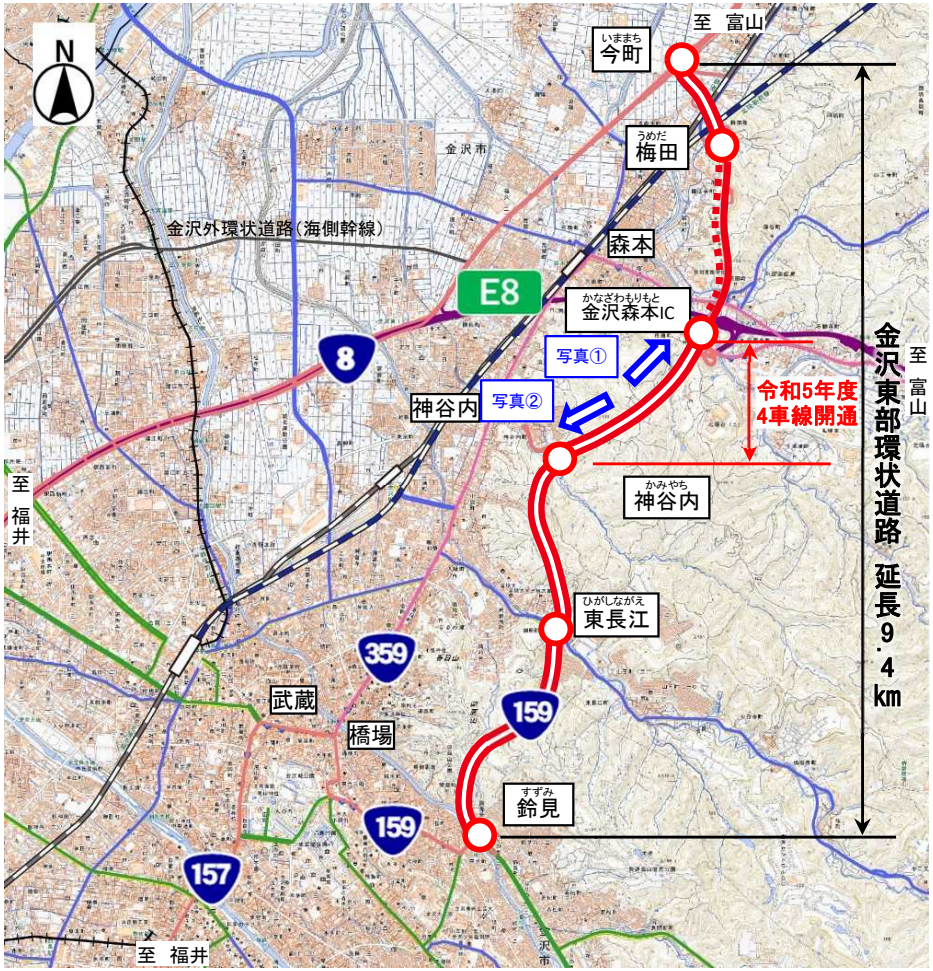
出典:
CO2算定式:道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠(平成22年度版)
(国土技術政策総合研究所資料第671 号)

旅行時間: ETC2.0プローブデータ　(4車線化前　令和5年4月～6月、4車線化後　令和6年4月～6月、平日7時～9時)
交通量　:トラフィックカウンター　(4車線化前　令和5年4月～6月、4車線化後　令和6年4月～6月、平日7時～9時)

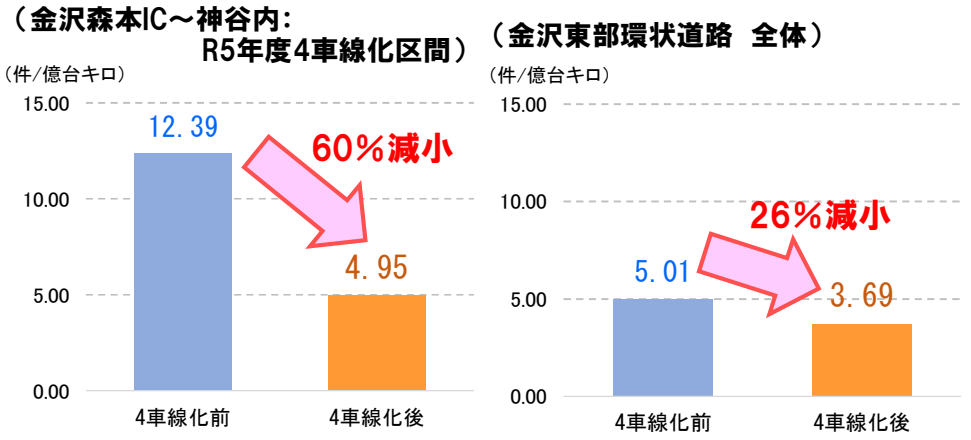
整備効果

効果3　交通事故の発生確率が減少、道路交通の安全性が向上　Safe

○金沢森本IC～神谷内間４車線化後、死傷事故率が12.39件/億台キロから4.95件/億台キロと約６０%減少。
　また、金沢東部環状道路全体においても死傷事故率が２６%減少。



■死傷事故率の変化



出典：ITARDA（R4）、交通事故情報マップ（石川県警）
4車線化前　：令和元年8月～令和5年7月の平均　4車線化後　：令和5年8月～令和6年7月

写真①：金沢森本IC付近車両走行状況

写真②：神谷内IC付近車両走行状況